



各事業内容詳細は
当日パンフレットを参照ください

すべての人が「性と生、自分らしさ」を実現できる平等・対等の社会（地域・未来）をつくるためには、子ども時代から自分を表現し、自己表現しながら他者との関係を築いていくことが大切です。

「ともフェス」は、さまざまな年代や立場の人がともに尊重し合える交流と学びの場となることを目的としたフェスティバルです。

すべての人がともに生きるフェスティバル

ともフェス

ジェンダー平等の社会を生きる

2023

12月16日(土) 10:00~16:30 (一部事前開催あり)
ヴィータ・コミュニェ7・8F (TAMA女性センター・関戸公民館)

『すべての人がともに生きるフェスティバル』とは

おかげさまでフェスティバルを無事開催し、滞りなく終えることができました。多くの方々の支えと協力、そして応援、ありがとうございました。『すべての人がともに生きるフェスティバル』の「すべての人」とはどういうことでしょうか？年齢、性別、性自認、性的指向性、障害の有無や程度、社会的地位や職業などに関わらず、「みんな私と同じ人間だ」ということ。そして、「ともに生きる」とはどういうことでしょうか？一人ひとり違い、私とは違うということを認識し、個性、得意不得意を認めて、お互いを補完し合い活かすことが「ともに生きる」ということなのではないでしょうか。「すべての人」が「ともに生きる」という理想がなければ、現実を創り出せない。多摩市が「すべての人がともに生きる」街としての先駆けとなることを心より願っています。

2023年度フェスティバル実行委員長 立石 浩一

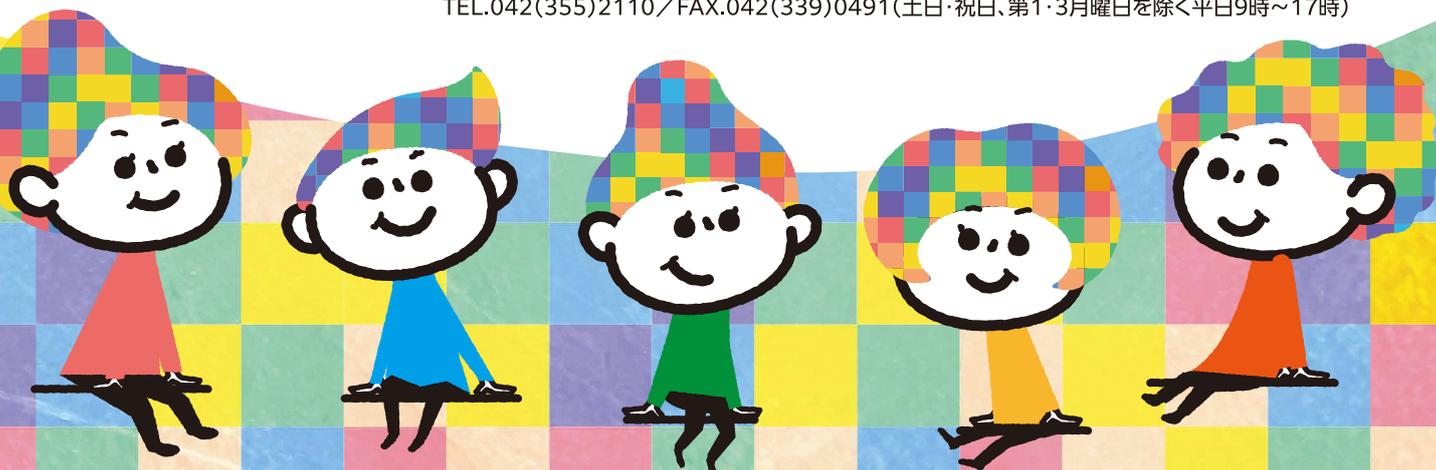
主
後

催 多摩市男女平等参画推進フェスティバル2023実行委員会
援 多摩市

事務局

多摩市立 TAMA 女性センター

〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニェ7階 多摩市立TAMA女性センター内
TEL.042(355)2110/FAX.042(339)0491(土日・祝日、第1・3月曜日を除く平日9時~17時)



映画&講演会 ~ジブンらしさをもとめて~

ヴィータホール

- 映画①** 10:00~10:45 映画『カラコエの花』
- 講演会** 11:00~12:30 講演会『性と生、自分らしさのはなし』
~「性的マイノリティ」について若者とその親世代と考える~
使用ビデオ:『金八先生』第21回/鶴本直
- 映画②** 13:15~13:45 映画『まだ見ぬあなたに』
- 映画③** 14:00~14:35 映画『片袖の魚』
- 映画④** 15:00~16:05 映画『虹色の朝が来るまで』

映画①



講演会



映画②



映画③



映画④



感想 (アンケートより)

- 映画①**
悪気ない行動が人を傷つけると実感した。/LGBTについて、観た後に考えるきっかけをくれる内容でした。おしつけがましくない内容と脚本だったと思います。あなたなら、LGBTの方にであつたら、どう接しますか、と投げかけられたと思いました。
- 映画②**
15歳の娘と拝見しました。もっと思春期の子どもに見てほしいと思います。中学などへアクションをおこしてください。
- 映画②③**
誰もが自分らしく自然体で生きられる 選択肢のある社会になればいいと思います。
- 映画②③④**
ジェンダーレスな世界をすすめる企画がこの多摩市で行われていて素晴らしいです。早く理解が広まりますように!/映画も、見ている人が共感できるすてきな作品でした。とくに4回目。/またこのような映画を見せていただけたらうれしいです。どうもありがとうございました。
- 講演会**
 - ジェンダーレスな生き方をすすめる企画が多摩で行われていてすばらしかった。映画も共感できる内容でした。
 - いろいろ考えさせていただき自分らしく生きられる世の中になってほしい。
 - ジェンダーの問題は女性自身の気づきによって解決されるので、「これはおかしい」と気づくような問いかけができる企画が良いと思った。
 - 「金八先生」のドラマを観たのは30才頃です。あらためてその頃の自分を振り返り、現在の自分につなげることができました。
 - もっと思春期の子どもに見てほしいと思いました。中学などへのアクションを起こしてください。

イベント ~ワタシらしい表現~

市民ロビー

10:00~16:30 子どもといっしょに遊ぼう広場は終日オープン
(保育園の積み木であそぼう・絵本コーナー・ルービックキューブ・缶バッチづくり・ポッチャ体験)

『タマボラくんがやってくる』11:30 / 13:30 / 15:00 (協力:多摩市社会福祉協議会 多摩ボランティア・市民活動支援センター)

10:00 開会のあいさつ

多摩市男女平等参画推進フェスティバル2023実行委員会~ジェンダー平等の社会を生きる~

11:00 ポッチャ対戦会 ①

性別、年齢、障がいの有無を問わず、だれでも楽しめるスポーツです。

14:00 子どもと唄とお話の時間

15:00 ポッチャ対戦会 ②

16:30 閉会のあいさつ



タマボラくん

報告

保育園のレインボー積み木とKAPLA®ブロックで自由に遊べる「子どもといっしょに遊ぼう広場」では、大人では決して作れないような想像力豊かな作品を子どもたちが作ってくれました。絵本も手に取り親子で読んだり、スタッフの読み聞かせにも耳を傾けてくれました。ポッチャにも興味を示し、小さい子から大人までが挑戦していました。3回のタマボラくんの登場は写真を一緒に撮ったり、唄とお話の時間は、子どもたち参加型で絵本の世界を音楽とともに楽しんでいました。缶バッジ作りのコーナーではおしゃれなオリジナル缶バッジができていました。他の場所で多くのプログラムがあったことで、市民ロビーへの参加は比較的少なめでしたが、暖かな日差しが入る窓辺で親子がゆったりと過ごせる時間が流れていました。(近藤)

イベント～アナタらしい表現～

ギャラリー

10:00～16:00 活動パネル展示&活動紹介
[パネル展示のみ12/6(水)～12/17(日)]

[展示団体] ヴィータ男の会/更生保護女性会多摩分区分/特定非営利活動法人 子育て応援団
そらいろのたね/フェミニズムと文学とCRの会/NPO法人 シーズネットワーク/
スペース空/みらいの会 まちのもの忘れ相談室/多摩市の男女平等条例を考える会/
TAMA認知症介護者の会 いこいの会/I女性会議多摩支部/アスベル
ガー・アラウンド/メイクボランティアM・B・L

[無料体験会] メイクボランティアM・B・Lの見学者へのハンドタッチケア(ギャラリー)



感想 (アンケートより)

- ひとやすみしながら市民同士、パネルの意見交換ができて良かった。
- ギャラリーのテーマと活動団体の活動がなんかリンクしてなくてなぜこんなテーマなのかを不思議に感じた。
- 視覚的に学べるものがたくさんあって良いと思いました。
- 最近特に自閉症の方の犯罪に関わる機会があり、例えばその方が刑務を終え出所した時に、社会としてどんな受け入れ体制が必要か、考えた時に、地域に住むひとりひとりがもっと更生保護や障がいへの理解があれば良いと思いました。このような展示や活動を通して、理解が広がることを期待しています。
- ハンドマッサージ…あたたかい手でやさしくマッサージ、おだやかな気持ちになれました。
- ジェンダー平等も大切なことと思うが、貧困・教育・健康・暴力等少数かもしれないが男性が困っている事例も見聞きます。
- 共にとは、性別を乗り越えて、障がいのあるなしでなくみんな同じ人間として共になんだろうと思います。その中でもまだ女性の問題はあるのかな。

親子でリラックス

第3学習室

10:00～11:00 ① 赤ちゃんとのスキンシップに
ベビーマッサージをしてみませんか?

11:30～12:30 ② わたしリフレッシュ!ヨガ教室

報告 ①

赤ちゃんとのスキンシップの1つでもあるベビーマッサージ。当日は、夫婦で参加された方もおり、ベビーマッサージ未経験のお父さんも、最初は恐る恐る赤ちゃんの体に触れながら、赤ちゃんとのスキンシップを楽しんでいました。赤ちゃんも優しくマッサージされ、大きな声を出して喜ぶ子、眠りそうになる子、みんなそれぞれ親子のきずなを深めていました。参加された方からは「家でも続けてやりたい」や、「子どもが嬉しそうなお顔を見て、自分も嬉しくなった」というお言葉をいただきました。(藤江)



報告②

日々の忙しさや、やるべき事からはなれ、ゆったりと体を動かす事で、リフレッシュや自分と向き合える時間を過ごしました。呼吸が意識できる様なやさしいポーズを行い「体がほぐれた」「無理なく動けた」「リフレッシュできた」「楽しかった」など嬉しいお言葉をいただきました。お子様もポーズをとってくれたり、お母さんの近くで自由に遊ぶ姿がみられ、和みました。新しい出会いや、ヨガを通じて楽しい時間を過ごせたことに、感謝の一日でした。今後も、子育て中の方々がお子様連れで体を動かせたり、リフレッシュできる場をつくりたいと思いました。(渡辺)

講演&パネルトーク〜ジブンらしさ・アナタらしさ〜

大会議室

10:00~12:00

① 地域とともに〜読者が主役!の地域情報紙『ももし』から、多摩の女性を見る

【講師】 五来 恒子さん(有限会社ももし 代表取締役)

13:30~16:00

② 困りごとにより添うネットワークづくり〜国立市女性シェルター・Jikkaの実践〜

【講師】 遠藤 良子さん(特定非営利活動法人 くにたち夢ファームJikka責任者)



報告①

有限会社ももしの代表、五来恒子さんの講演会。1985年、多摩ニュータウンに転入とともに五来さんのお母様が設立した『奥さまももし新聞』は、当時の多摩の女性の変化を的確に捉えており、時代とともに逞しく変化しゆく女性を、当時の掲載記事を投影しながら紹介してくれました。現在、当たり前のように女性が働く時代となりましたが、これは多摩においても多くの女性が仕事を通じて輝いてくれたからこそだと感じました。その方たちのありのままを発信し続けてくれた、多摩の貴重な地域情報誌ももしさんの今後の挑戦は「多摩の雇用を増やしたい」とのこと。今後、益々若者や女性が活躍できる、活気ある多摩になると期待できる講演会でした。(小泉)

報告②

女性のための民間シェルター“Jikka”。その責任者である遠藤さんは、相談や生活支援や食糧配布など、あらゆる方法で“困難を抱える女性”のサポートを行ってきました。事業のきっかけ、越えなければならなかったハードル、蓄積されたたくさんの経験と知見——そして何よりも、「こちらが相手に一方的に“恵む”のではなく、お互いを支援するんです」という遠藤さんの言葉は明快で、実践をともなう力強いものでした。そんな場所づくりの出発点はやはり、「地域に密着した女性支援の場が必要」という思いだったそうです。女性支援法のキモは自治体ごとの取り組みと、官民協働を進めることです。(伊地智・妹尾)

実行委員会

■ 2023実行委員会 会場：TAMA女性センター活動交流室

①5/25(木)14:00~15:30 ②6/21(水)13:00~16:30 ③7/19(水)13:00~15:00 ④8/23(水)13:00~15:00 ⑤9/20(水)13:00~15:00
⑥10/25(水)13:00~15:00 ⑦11/22(水)13:00~14:30 ⑧12/7(木)13:30~14:30 ⑨12/12(火)13:00~14:00 ⑩12/15(金)13:00~14:00
⑪2024年2/21(水)13:00~15:00 ⑫2024年3/21(木)10:00~12:00

■ 12/16(土)フェスティバル

参加者カウンター数：ギャラリー56人(12/16のみ) / 市民ロビー48人、ホール87人、第3学習室45人、大会議室51人、その他35人 / 合計322人

実行委員

委員長：立石 浩一 副委員長：千代 昇/妹尾 浩也 書記：近藤 直恵/渡辺 泉 広報：小泉 雅子/妹尾 浩也 会計：山本 恵子/畑澤 知己
会計監査：藤江 美也子/高橋 裕子 事務局：TAMA女性センター